



# シャローム shalom

No.152

2019.秋号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



## 全ての赤ちゃんの健やかな未来のために

やまかわ とおる

小児科・NICU主任部長 山川 孔

(写真:右)

日本バプテスト病院は新生児特定集中治療室(NICU)を運営しています。NICU認可病床数9床を擁し、京都府の周産期医療の一翼を担っています。

当院は1955年の開設当初から、周産期医療の伝統のある病院でした。NICUは1995年、京都府初の認可NICUとして発足しました。以降、延べ約3,900人の赤ちゃんの入院をお引き受けして参りました。出生体重1,000グラム未満の超低出生体重児だけでも200人を超えています。

NICUでは、極・超低出生体重児に対する人工呼吸管理や経静脈栄養、未熟児網膜症のレーザー治療等の治療に加え、重症分娩時仮死症例に対する新生児

低体温療法、重篤な呼吸障害に対する一酸化窒素吸入療法など、最先端の新生児集中治療を行っています。迅速確実な処置を求められる新生児仮死蘇生術については、周産期スタッフ全員が新生児蘇生法NCPRの講習を繰り返し受講し、訓練に励んでいます。

また当院では、京都市内に2台しかない新生児搬送救急車の1台を運用し、産科施設等からの新生児救急症例の紹介の際、専門医同乗での迎え搬送を行っています。京都市内で当院の救急車が緊急走行していたら、重症の赤ちゃんを搬送する道中でございます。ご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解とご協力をお願いいたします。

2019年度医療団標語聖句(イザヤ書43章19節より)

「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。」

# News

## 病院備蓄品を一部寄付

“学校給食のない夏休み中に貧困世帯の子どもたちへ食品を送る”活動をされている特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都に7月・8月と2回にわたり、備蓄品の一部、牛肉すき焼き他9点2,016缶・888袋を寄贈致しました。



特定非営利活動法人  
セカンドハーベスト京都  
理事長 澤田 政明

日本バプテスト病院  
院長 尼川 龍一

# Hospice

## ホスピスボランティア リレーコラム vol.6

まつや みゆき  
ボランティア担当 松屋 美幸



### つなぐ

ボランティアの担当になってから、はや6年が経ちます。

実は担当になるまで、病院内でボランティア活動が行われていることさえ知らず、これほどたくさんのボランティアさんがご協力くださっていたのか!と最初は驚くことばかりでした。

現在、5階東病棟(ホスピス)では、約70名のボランティアさんが活動しています。学生からシニアまで、年齢も職業も幅広く、活動を始めたきっかけもさまざまですが、「患者さんのために何かしたい」という想いは共通です。

ボランティアさんがサーブする一杯のお茶、ちょっとしたお声かけや見守り、音楽や各種セラピーで、患者さんの笑顔が広がります。また手芸好きの患者さんと一緒に編み物をしたり、囲碁や将棋をたしなむ患者さんのお相手をしたり、園芸好きな患者さんとテラスで野菜の苗を育てたり…。趣味も特技も多彩なボランティアさんが大勢いてくださるからこそ、患者さん個々のご希望にも寄り添うことができます。本当に感謝しています。

そんなボランティアさんと病院スタッフをつなぎ、活動を円滑に進めるのが私の役割です。そして共にめざすのは、患者さんにご家族に少しでも楽しく安らかな時間をご提供すること。これからも「つなぐ役割」を忘れずに、一歩ずつ歩んでいきたいと思えます。

## 薬でつなぐ ちよつといい話



### vol.25 ジェネリック医薬品って ご存知ですか?

さとう かずお  
薬剤部 佐藤 和生

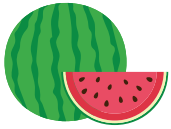


皆さま、ジェネリック医薬品ってご存知ですか?『よく知っているよ』『あまり分からない』などの声があると思います。そこで今回、そのジェネリック医薬品について説明いたします。

ジェネリック医薬品は後発医薬品とも呼ばれており、新薬(先発医薬品)と有効成分や安全性が同等と認められたお薬です。一番の特徴は先発医薬品に比べて低価格であることです。これは開発コストが抑えられるためであり、品質を落として低価格にしているわけではありません。また製品によっては、服用しやすいように大きさや味・香りなどを改良したジェネリック医薬品もあります。さらにヒートや錠剤に薬剤名をプリントしているものもあります。

国はジェネリック医薬品を使用促進させることで、患者さんの負担軽減、医療保険財政の改善を進めています。そして多くの方が使用されています。当院でも安全、安心なジェネリック医薬品を選定し、積極的に採用して使用しています。

ジェネリック医薬品で分からないこと、お薬で分からないことがあれば薬剤師に聞いてください。



## 健康・栄養

### 第35回 当院は入院患者さんを栄養面からもサポートしています

かわくほともみ

NST専任管理栄養士 川久保 智美

私たちは栄養サポートチーム、略してNST (Nutrition Support Team) です。NSTとは「多職種が協同して、さまざま疾患を抱えた個々の症例に応じて、適切な栄養管理を行う医療チーム」のことです。

当院でもNST専任の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、そして言語聴覚士から成るチームを構成し、週1回のNST回診を行い、低栄養、褥瘡、中心静脈栄養、経管栄養、嚥下に問題のある方を中心に介入しています。栄養不良・低栄養であると、免疫能が低下したり、傷の治癒や病気からの回復が遅くなったり、身体機能が低下したりしますので、NSTでは栄養不良の患者を見つけ出し、栄養状態をよくすることによって疾患の治療を栄養面から適切に



病院NST

支援することを目的にしています。

栄養といえば食事のことだと思われがちですが、それだけではありません。輸液による栄養補給、栄養剤による栄養補給、そして摂食嚥下状態、それらも総合して多職種のNSTメンバーがそれぞれの専門分野の知識を生かし、退院後の生活環境、生活状況も考えながら入院中の栄養管理をしています。

これからも、NSTをよろしくお願いします！



NSTカンファレンスの様子

## 聖書の小道

### 第42回

### 「あなたは大切」

イエスは乳飲み子を呼び寄せて言われた。「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。」

ルカによる福音書  
18章16節より

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン 宮川 裕美子



弟子たちは、イエスのところに子供たちを連れてきた人々を叱りました。男性だけが数に数えられるような当時のこと、子供たちがイエスの祝福を受けるに値しない存在と判断したからです。しかしそれを見たイエスは、子供たちよりもっと幼い乳飲み子たちをご自分の近くに呼び寄せてこのように言われました。

「役に立たないで生きていても仕方がない」というつぶやきをお聞きすることがあります。乳飲み子は誰かの役に立つということはないでしょう。しかしイエスは、乳飲み子を呼び寄せることによって、弟子たちの価値判断を否定されました。役に立つ、立たないは、その存在の理由ではありません。そこにあなたがいる、そのことであなたは大切な存在である、そうイエスは両手を広げておられます。

### 2019年度 キリスト教週間：ミッションウィーク (10/27～11/2)

医療団創立のキリスト教精神とその理念に触れる一週間として、2004年より始められました。この期間の職員朝礼はチャプレンや地域教会牧師、クリスチャンスタッフがメッセージを担当しています。医療団の理念実践についてのスタッフの声や思いは、牧師室だよりのミッションウィーク特別号でご紹介します。お楽しみに！

牧師室からの  
おしらせ

## 催し物予告 医療団 クリスマスコンサート

出演：京都シティーフィル合唱団

日時：2019年12月14日(土)

13:50~14:30

場所：イマヌエルホール

(病院北側の建物1階)

\*都合により、変更・中止の場合があります。ご了承ください。



## イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

### 寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

### 郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

### お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

電話 (075) 702-5926

## 献金・献品 感謝ご報告 (2019.6.1-8.31) 敬称略

日本バプテスト連盟 東大阪キリスト教会

日本キリスト教団 鴨東教会 教会学校

日本バプテスト 相模中央キリスト教会

関西連合 京滋ブロック女性会

日本バプテスト看護専門学校 後援会

宮川 裕美子 山對 アン(尼崎バプテスト教会) 匿名の方1名

### 訃報

弊財団理事長 北堅吉儀、かねてより病氣療養中のところ、2019年8月26日(月)午後4時15分、享年70歳にて永眠いたしました。

ここに生前のご厚誼に心より感謝し、謹んでお知らせ申し上げます。

## 催し物報告 2019年度 地域医療連携懇話会

9月28日(土)、京都ホテルオークラにて「地域医療連携懇話会」を開催いたしました。

第一部では、「当院におけるホスピス緩和ケアの現状と今後」と題し、山極ホスピス主任部長より報告があり、その後、京都大学医学部附属病院長の宮本享先生より「脳卒中・循環器病対策基本法とこれからの脳卒中医療」と題した特別講演を頂きました。第二部の懇親会では、地域の開業医の先生方、医療・介護の関係者と和やかな時間を持つことが出来ました。今後もより一層の連携強化を図ってまいりますので宜しくお願いいたします。

## 催し物 ばぶカフェOPEN

バプテスト老人保健施設の家族会委員会では、今年度より新しい試みとして『ばぶカフェ』を隔月開催しています。

毎回ご利用者ご家族様にお越しいただき、お茶やお菓子とともにさまざまなお話に花が咲きました。日々介護をされておられる中での思いや工夫を共有されたり、職員への質問や施設に対する要望を直接お聞きでき、大変有意義な時間を過ごす事ができました。



2020年3月には例年通りの『家族会』を開催予定です。また次年度もばぶカフェを継続したくさんのご利用者ご家族様にお越しいただけますよう努めてまいります。



### 編集後記

今回のTOP写真はカンファレンスをしているところにお邪魔させていただき撮影しました。

大きな医療器械に囲まれた中、小さな赤ちゃんが頑張っている場面に緊張していた撮影隊ですが、山川医師はじめ皆さんは(当然なのですが)真剣な中にも穏やかな空気感でカンファレンスをされていたのが印象的でした。

## 日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.152 2019年10月発行

発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/代表理事 尼川 龍一 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <http://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト在宅介護支援事業所